

統計アラカルト

熊本の統計情報 平成23年6月24日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

毎月1回のペースで色々な統計に関する話題・データを紹介します。

なぜなぜ統計

～統計の見方と用語の意味～

統計を見る場合には、実際の数字だけではなく、どのように調査が行われたか、その数値はどんな意味を持つのかを確認しなければ、統計の持つ本来の意味を見誤る場合があります。

そこで、県民の皆様からよく問い合わせがある統計の見方や用語の意味を一部紹介します。

●全数調査(センサス)と標本調査

調査対象全てを調査することを全数調査といい、高い精度がありますが、コストや時間がかかります。調査対象の一部を調査し、全体を推計する調査を標本調査といい、標本抽出をきちんと行えば、全数調査に比べるとコストと時間面で有利で精度も保てます。詳細については以下のURLで説明しています。

http://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/1018480_1078019_misc.pdf(統計アラカルト)

〔全数調査: 国勢調査、経済センサス、農林業センサス等
標本調査: 毎月勤労統計調査、労働力調査、家計調査等〕

●名目、実質、デフレーター？

経済成長率には「名目」と「実質」という2つの表示方式があります。

「名目」…市場価格を基にした数値で最も実感に近いもの。全体の構成比等に利用する。

「実質」…名目の数値から価格上昇や下落などの物価変動を取り除いた数値。異なる年度間の比較等に利用する。

「デフレーター」名目値と実質値の間の価格変動分を調整する指数。

詳しくは、http://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/1045039_1084287_misc.pdf(県民経済計算)

●原指数、季節調整済指数？

「原指数」…基準年の月平均を100として算定する数値。季節要因(連休や、盆休み、夏はジュースやアイスが売れ、冬は暖房器具が売れる等)による変動があり、前月との比較は単純にできない。主に前年同月の比較に用いる。

「季節調整済指数」…原指数から季節要因を取り除いた数値。算出方法としては①月ごとの平均値から算出する月別平均法、②月ごとの前月比を計算し、その前月比の平均値から算出するパーソンズ法、③1か月の移動を平均する12か月移動平均法等があり、主に、同じ年の各月の比較に用いる。

●常用労働者とパートタイム労働者

毎月勤労統計調査等で、常用労働者とは、1ヶ月以上で月18日以上雇われた人のことで、正規従業員だけではなく、常時雇用するという意味で、ごく短期間勤める人でなければ、常用労働者となります。

パートというイメージがありますが、統計でいうパートタイム労働者は、①1日の労働時間が一般労働者より短い場合、②1日の労働時間が一般労働者と同じでも所定の労働日数が短い場合をいいます。

●国勢調査と住民基本台帳人口

代表的な人口の統計としては、国勢調査と住民基本台帳人口があります。

国勢調査は5年ごとに10月1日現在の外国人を含めた実際に住んでいる人の数を数えます。

住民基本台帳人口は、月末現在の住民基本台帳の数を数えるため、生活の本拠がない人も住民票を移動していなければカウントされます。

同じ人口の統計でも基準日の違い数の数え方の違いがあります。

●推計人口調査と住民基本台帳人口

推計人口調査は、国勢調査が実施されない5年間の人口の推移を補間するための調査です。推計の方法は直近の国勢調査を基に住民基本台帳と外国人登録の人口動態(出産、死亡、転入、転出)の数値を増減します。

前述したように、数の数え方が違うため以下のような事例が発生する場合があります。

国勢調査時点 10月1日にA市に住民票がある人が県外B市に居住しており、翌月県外C市に転居し、住民票を移した場合は、下記の表のようになります

図1

	国勢調査日(10月1日)時点		
	A市	B市	C市
国勢調査	0	1	0
住民基本台帳人口	1	0	0

図1の国勢調査時点では、数の数え方の違いにより国勢調査と住民基本台帳人口に違いが発生しています。

図2で実際の移動した場合と住民基本台帳上の数値の増減を表しています。

図2

	移動状況		
	A市	B市	C市
実際の移動	0	-1	+1
住民基本台帳人口	-1	0	+1

図3では移動後の推計人口と住民基本台帳人口を表しています。住民票を基に推計するため、住んでいないが住民票があるA市ではマイナスに、住んでいるが住民票がなかったB市は残ったままになっています。

このようなケースも考えられるため、その年ごと、月ごとの推移を見るには推計人口、長期の人口の推移を見るには国勢調査等、利用方法により使い分ける必要があります。

図3

	移動後		
	A市	B市	C市
推計人口	-1	1	1
住民基本台帳人口	0	0	1

●家計調査のランキング

よく新聞やテレビ等で都道府県では何が一番購入されているかを公表しています。その基になるのが家計調査ですが、実は都道府県ごとではなく都道府県の県庁所在地と政令都市のランキングなのです。

家計調査は抽出調査であり、市町村すべてが対象でないため、調査対象が多く精度が保てる県庁所在地等による比較を行っています。

ここで説明したことは公表データのはじめや最後に説明してあることが多くあります。統計を利用する際は、調査内容を確認したうえで統計を利用されることをお勧めします。

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

次回の「統計アラカルト」は、7月29日(金曜日)に掲載予定です。

問合せ先: 熊本県企画振興部統計調査課 総務資料班 〒869-8570 熊本市水前寺 6-18-1

熊本県の統計情報は「 <http://www.pref.kumamoto.jp/site/statistics/> 」をご覧ください。

電話: 096-333-2174 / Fax: 096-384-7544 / メール: toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp